

(別表1)

【土木一式工事(平時)の場合】

評価項目等(施工計画型)

(1) 施工計画について

評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点	
選択	施工上配慮すべき事項	施工上配慮すべき事項の適切性	施工上の配慮について工事の条件等を踏まえて、工夫が見られる。 施工上の配慮について工事の条件等を踏まえて、やや工夫が見られる。 施工上の配慮について工事の条件等を踏まえており適切である。	21~30 11~20 0~10	
選択	工程管理に係る技術的所見	工事の実施手順及び工期設定の妥当性	工事の実施手順が適切で、工期が大幅に短縮される。 工事の実施手順が適切で、工期がやや短縮される。 工事の実施手順が適切で、各工程の期間設定が適切である。	21~30 11~20 0~10	
選択	品質管理に係る技術的所見	コンクリート、鋼材溶接部等の品質の確認方法、管理方法の適切性	品質の確認方法、管理方法が現場条件(地形、地質、環境、地域特性等)を踏まえて適切であり、工夫が見られる。 品質の確認方法、管理方法が現場条件(地形、地質、環境、地域特性等)を踏まえて適切であり、やや工夫が見られる。 品質の確認方法、管理方法が現場条件(地形、地質、環境、地域特性等)を踏まえており適切である。	21~30 11~20 0~10	

(2) 企業の施工能力について

評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点	
選択	同種・類似工事の施工実績	過去15年間の同種・類似工事の施工実績	同種工事の実績あり 類似工事の実績あり 上記以外	10 5 0	
必須	工事成績評定点	過去3か年度の工事成績評定平均点	80点以上 79点 78点 77点 76点 75点 75点未満	20 18 16 14 12 10 0	
必須	優良工事表彰歴	土木一式工事における過去5か年度の優良工事表彰歴	2回以上の知事表彰又は四国地方整備局長表彰あり 知事表彰又は四国地方整備局長表彰あり 表彰なし	10 5 0	
選択	生産性向上の取組(ICTの活用)	当該工事で実施する生産性向上の取組(ICTの活用)を評価	ICT全面活用又はICT部分活用を実施 その他のICTを活用 いずれも活用しない	10 3 0	

※1 「同種・類似工事の施工実績」では、次に掲げる工事に該当するものを評価する。

同種工事	
類似工事	

※2 「同種・類似工事の施工実績」について、共同企業体の代表者でない構成員としての施工実績は、入札参加資格とは別に、総合評価においては施工実績に含まない。

(3) 配置予定技術者について

評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点	
選択	同種・類似工事の従事経験	過去15年間の主任(監理)技術者及び現場代理人としての同種・類似工事の従事経験	主任(監理)技術者として同種工事の従事経験あり 主任(監理)技術者として類似工事の従事経験あり 現場代理人として同種工事の従事経験あり 現場代理人として類似工事の従事経験あり 上記以外	10 6 4 2 0	
選択	主任(監理)技術者の保有する資格	保有する資格の有無	監理技術者になれる資格(実務経験年数又は大臣認定により取得した資格を除く。) 上記以外	5 0	
必須	継続学習(CPD)の取組み	CPDの取得単位数	100ユニット以上 80ユニット以上100ユニット未満 60ユニット以上80ユニット未満 40ユニット以上60ユニット未満 20ユニット以上40ユニット未満 20ユニット未満	5 4 3 2 1 0	

※1 「同種・類似工事の従事経験」では、上記(2)の※1に掲げる工事に該当するものを評価する。

※2 「同種・類似工事の従事経験」について、担当技術者及び共同企業体の代表者でない構成員としての従事経験は、入札参加資格とは別に、総合評価においては従事経験に含まない。

(4) 技術力の継続的な確保について

評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点	
選択	設備等施工体制	(前掲・PC管・水門等門工等で工場製作を伴う場合) 製作工場の有無 (自作自産を用いる路上工事の場合) 所有する主作業船の有無又は使用 (従前工事主要機械を用いる従前工事の場合) 所有する法面工事主要機械の使用 (工事が土木一式における一般土木の場合) 掘削系建設機械及びタンクトラック(最大積載量2t以上)の所有の有無	市内にあり 市内になし 当該工事に要する能力以上の主作業船を所有又は所有する主作業船を当該工事で使用 上記以外 所有する法面工事主要機械を当該工事で使用 上記以外 掘削系建設機械及びタンクトラック(最大積載量2t以上)を所有 掘削系建設機械を所有 上記以外	10 0 10 0 5 0 5 3 0	
必須	災害時の事業継続力	災害時の事業継続計画(BCP)の認定の有無	四国建設業BCP等審査会又はえひめ建設業BCP等審査会の認定あり 認定なし	5 0	
選択	市内下請業者の活用	全ての下請を含む施工体制の計画	全ての下請業者(二次以下を含む)が市内業者である又は元請業者が市内業者で工事の全てを自ら施工する(対象外工事の下請業者は除く) 上記以外	5 0	
必須	若手技術者等の育成	若手技術者等(35歳未満)の現場への配置	30歳未満を担当技術者として配置 35歳未満を担当技術者として配置 30歳未満を現場代理人として配置 35歳未満を現場代理人として配置 上記以外	5 4 2 1 0	

※1 「市内下請業者の活用」では、次に掲げる工種に関する下請業者は対象外とする。

対象外工種	
-------	--

(5) 地理的要件

評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点	
必須	本・支店、営業所の有無	市内での本・支店、営業所の所在の有無	旧市町内に本店あり 市内に本店あり 市内に支店、営業所あり 上記以外	15 10 5 0	

(6) 地域貢献度

評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点	
選択	災害対応等への協力体制及び実績	宇和島市と災害協定の締結、過去2か年度の災害協定等に基づく応急対策業務への対応及び過去1か年度の災害ボランティア活動の実績	次の①~③までの全てに該当あり ①災害協定の締結 ②災害協定等に基づく応急対策業務への対応 ③災害ボランティア活動の実績 上記①~③までのいずれか2つに該当あり 上記①~③までのいずれか1つに該当あり 上記以外	12 8 4 0	
必須	地域貢献活動への参加実績	過去2か年度の地域貢献活動への参加実績	5回以上の参加実績あり 5回未満の参加実績あり 参加実績なし	5 3 0	

※ 本表は、土木一式工事(平時)に係る標準的な様式であり、評価内容及び評価基準については、案件に応じて変更する場合がある。

(別表1-1)
【土木一式工事以外の場合】

評価項目等 (施工計画型)

(1) 施工計画について

評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点
選択 施工上配慮すべき事項	施工上配慮すべき事項の適切性	施工上の配慮について工事の条件等を踏まえて、工夫が見られる。	21~30	
		施工上の配慮について工事の条件等を踏まえて、やや工夫が見られる。	11~20	
		施工上の配慮について工事の条件等を踏まえており適切である。	0~10	
選択 工程管理に係る技術的所見	工事の実施手順及び工期設定の妥当性	工事の実施手順が適切で、工期が大幅に短縮される。	21~30	
		工事の実施手順が適切で、工期がやや短縮される。	11~20	
		工事の実施手順が適切で、各工種の期間設定が適切である。	0~10	
選択 品質管理に係る技術的所見	コンクリート、鋼材溶接部等の品質の確認方法、管理方法の適切性	品質の確認方法、管理方法が現場条件(地形、地質、環境、地域特性等)を踏まえて適切であり、工夫が見られる。	21~30	
		品質の確認方法、管理方法が現場条件(地形、地質、環境、地域特性等)を踏まえて適切であり、やや工夫が見られる。	11~20	
		品質の確認方法、管理方法が現場条件(地形、地質、環境、地域特性等)を踏まえており適切である。	0~10	

(2) 企業の施工能力について

評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点
選択 同種・類似工事の施工実績	過去15年間の同種・類似工事の施工実績	同種工事の実績あり	10	
		類似工事の実績あり	5	
		上記以外	0	
選択 工事成績評定点	過去6か年度の工事成績評定平均点	80点以上	20	
		79点	18	
		78点	16	
		77点	14	
		76点	12	
		75点	10	
		75点未満	0	

※1 「同種・類似工事の施工実績」では、次に掲げる工事に該当するものを評価する。

同種工事	
類似工事	

※2 「同種・類似工事の施工実績」について、共同企業体の代表者でない構成員としての施工実績は、入札参加資格とは別に、総合評価においては施工実績に含まない。

(3) 配置予定技術者について

評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点
選択 同種・類似工事の従事経験	過去15年間の主任(監理)技術者及び現場代理人としての同種・類似工事の従事経験	主任(監理)技術者として同種工事の従事経験あり	10	
		主任(監理)技術者として類似工事の従事経験あり	6	
		現場代理人として同種工事の従事経験あり	4	
		現場代理人として類似工事の従事経験あり	2	
		上記以外	0	
選択 主任(監理)技術者の保有する資格	保有する資格の有無	監理技術者になれる資格(実務経験年数又は大臣認定により取得した資格を除く。)	5	
		上記以外	0	
必須 継続学習(CPD)の取組み	CPDの取得単位数	100ユニット以上	5	
		80ユニット以上100ユニット未満	4	
		60ユニット以上80ユニット未満	3	
		40ユニット以上60ユニット未満	2	
		20ユニット以上40ユニット未満	1	
20ユニット未満	0			

※1 「同種・類似工事の従事経験」では、上記(2)の※1に掲げる工事に該当するものを評価する。

※2 「同種・類似工事の従事経験」について、担当技術者及び共同企業体の代表者でない構成員としての従事経験は、入札参加資格とは別に、総合評価においては従事経験に含まない。

(4) 技術力の継続的な確保について

評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点	
選択 設備等施工体制	(資機材・P.O.セメント・水門・水門工事等々で工場製作を伴う場合) 製作工場の有無	市内にあり	10		
		市内になし	0		
		(主作業船を用いる海上工事の場合) 所有する主作業船の有無又は使用	当該工事に要する能力以上の主作業船を所有又は所有する主作業船を当該工事で使用		10
			上記以外		0
		(アスファルト舗装工事の場合) アスファルトプラントの有無及び所有するアスファルトフィニッシャの使用	アスファルトプラントが市内にありかつ所有するアスファルトフィニッシャを当該工事で使用		15
			アスファルトプラントが市内にあり 所有するアスファルトフィニッシャを当該工事で使用		10 5
		(アスファルト舗装工事でアスファルトフィニッシャを使用しない場合) アスファルトプラントの有無	アスファルトプラントが市内にあり		10
			上記以外		0
		(重量が解体の場合) 所有する解体用重機の使用	所有する解体用重機を当該工事で使用		5
			上記以外		0
選択 市内下請業者の活用	全ての下請者(二次以下を含む)が市内業者である又は元請業者が市内業者で工事の全てを自ら施工する(対象外工種の下請業者は除く)	5			
必須 若手技術者等の育成	若手技術者等(35歳未満)の現場への配置	上記以外		0	
		30歳未満を担当技術者として配置	5		
		35歳未満を担当技術者として配置	4		
		30歳未満を現場代理人として配置	2		
		35歳未満を現場代理人として配置	1		
上記以外	0				

※1 「市内下請業者の活用」では、次に掲げる工種に関する下請業者は対象外とする。

対象外工種	
-------	--

(5) 地理的要件

評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点
必須 本・支店、営業所の有無	市内での本・支店、営業所の所在の有無	市内に本店あり	10	
		市内に支店、営業所あり	5	
		上記以外	0	

(6) 地域貢献度

評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点
選択 災害対応等への協力体制及び実績	(工種が舗装一式、舗装又は管の場合) 宇和島市と災害協定の締結、過去2か年度の災害協定等に基づく応急対策業務への対応	次の①~③までの全てに該当あり ①災害協定の締結 ②災害協定等に基づく応急対策業務への対応 ③災害ボランティア活動の実績	12	
		上記①~③までのいずれか2つに該当あり	8	
		上記①~③までのいずれか1つに該当あり	4	
		上記以外	0	
必須 地域貢献活動への参加実績	過去2か年度の地域貢献活動への参加実績	5回以上の参加実績あり	5	
		5回未満の参加実績あり	3	
		参加実績なし	0	

※ 本表は、土木一式以外の工事に係る標準的な様式であり、評価内容及び評価基準については、案件に応じて変更する場合がある。

(別表1-2)
【土木一式工事（激甚災害相当時）の場合】

評価項目等（施工計画型）

(1) 施工計画について

評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点	
選択	施工上配慮すべき事項	施工上配慮すべき事項の適切性	施工上の配慮について工事の条件等を踏まえて、工夫が見られる。	21~30	
			施工上の配慮について工事の条件等を踏まえて、やや工夫が見られる。	11~20	
			施工上の配慮について工事の条件等を踏まえており適切である。	0~10	
選択	工程管理に係る技術的所見	工事の実施手順及び工期設定の妥当性	工事の実施手順が適切で、工期が大幅に短縮される。	21~30	
			工事の実施手順が適切で、工期がやや短縮される。	11~20	
			工事の実施手順が適切で、各工程の期間設定が適切である。	0~10	
選択	品質管理に係る技術的所見	コンクリート、鋼材溶接部等の品質の確認方法、管理方法の適切性	品質の確認方法、管理方法が現場条件（地形、地質、環境、地域特性等）を踏まえて適切であり、工夫が見られる。	21~30	
			品質の確認方法、管理方法が現場条件（地形、地質、環境、地域特性等）を踏まえて適切であり、やや工夫が見られる。	11~20	
			品質の確認方法、管理方法が現場条件（地形、地質、環境、地域特性等）を踏まえており適切である。	0~10	

(2) 企業の施工能力について

評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点					
選択	同種・類似工事の施工実績	過去15年間の同種・類似工事の施工実績	同種工事の実績あり	10					
			類似工事の実績あり	5					
必須	工事成績評定点	過去3か年度の工事成績評定平均点	上記以外	0					
			20点以上	20					
			19点	18					
			18点	16					
			17点	14					
			16点	12					
			15点	10					
			14点未満	0					
			必須	優良工事表彰歴		土木一式工事における過去5か年度の優良工事表彰歴	2回以上の知事表彰又は四国地方整備局長表彰あり	10	
							知事表彰又は四国地方整備局長表彰あり	5	
選択	生産性向上の取組（ICTの活用）	当該工事で実施する生産性向上の取組（ICTの活用）を評価	ICTを全面活用又はICT部分活用を実施	10					
			その他のICTを活用	3					
			いずれも活用しない	0					

※1 「同種・類似工事の施工実績」では、次に掲げる工事に該当するものを評価する。

同種工事	
類似工事	

※2 「同種・類似工事の施工実績」について、共同企業体の代表者でない構成員としての施工実績は、入札参加資格とは別に、総合評価においては施工実績に含まない。

(3) 配置予定技術者について

評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点	
選択	同種・類似工事の従事経験	過去15年間の主任（監理）技術者及び現場代理人としての同種・類似工事の従事経験	主任（監理）技術者として同種工事の従事経験あり	10	
			主任（監理）技術者として類似工事の従事経験あり	6	
			現場代理人として同種工事の従事経験あり	4	
選択	主任（監理）技術者の保有する資格	保有する資格の有無	現場代理人として類似工事の従事経験あり	2	
			上記以外	0	
			監理技術者になれる資格（実務経験年数又は大臣認定により取得した資格を除く。）	5	
必須	継続学習（CPD）の取組み	CPDの取得単位数	上記以外	0	
			100ユニット以上	5	
			80ユニット以上100ユニット未満	4	
			60ユニット以上80ユニット未満	3	
			40ユニット以上60ユニット未満	2	
			20ユニット以上40ユニット未満	1	
			20ユニット未満	0	

※1 「同種・類似工事の従事経験」では、上記（2）の※1に掲げる工事に該当するものを評価する。

※2 「同種・類似工事の従事経験」について、担当技術者及び共同企業体の代表者でない構成員としての従事経験は、入札参加資格とは別に、総合評価においては従事経験に含まない。

(4) 技術力の継続的な確保について

評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点	
選択	設備等施工体制	（船舶・PC船・水門扉門工等専らで工事作業を行う場合） 製作工場の有無 （主要作業を用いる海上工事の場合） 所有する作業船の有無又は使用 （陸上工事主要機械を用いる陸上工事の場合） 所有する法定工事主要機械の使用 （工費が土木一式に占める一般土木の場合） 掘削系建設機械及びダンプトラック（最大積載量2t以上）を所有 掘削系建設機械を所有	市内にあり	10	
			市内になし	0	
			当該工事に要する能力以上の作業船を所有又は所有する作業船を当該工事で使用	10	
			上記以外	0	
			所有する法定工事主要機械を当該工事で使用	5	
			上記以外	0	
			掘削系建設機械及びダンプトラック（最大積載量2t以上）を所有	5	
掘削系建設機械を所有	3				
必須	災害時の事業継続力	災害時の事業継続計画(BCP)の認定の有無	四国建設業BCP等審査委員会又はひめ建設業BCP等審査会の認定あり	5	
			認定なし	0	
選択	市内下請業者の活用	全ての下請を含む施工体制の計画	全ての下請業者（二次以下を含む）が市内業者である又は元請業者が市内業者で工事の全てを自ら施工する（対象外工種の下請業者は除く）	5	
			上記以外	0	
必須	若手技術者等の育成	若手技術者等（35歳未満）の現場への配置	0歳未満を担当技術者として配置	5	
			30歳未満を担当技術者として配置	4	
			40歳未満を現場代理人として配置	2	
			50歳未満を現場代理人として配置	1	
			上記以外	0	

※1 「市内下請業者の活用」では、次に掲げる工種に属する下請業者は対象外とする。

対象外工種	
-------	--

(5) 地理的要件

評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点	
必須	本・支店、営業所の有無	市内の本・支店、営業所の所在の有無	出市町内に本店あり	15	
			市内に本店あり	10	
			市内に支店、営業所あり	5	
			上記以外	0	

(6) 地域貢献度

評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点	
選択	災害対応等への協力体制及び実績	宇和島市と災害協定の締結、過去2か年度の災害協定等に基づく応急対策業務への対応及び過去1か年度の災害ボランティア活動の実績	次の①~③までの全てに該当あり	12	
			①災害協定の締結	8	
			②災害協定等に基づく応急対策業務への対応	4	
			③災害ボランティア活動の実績	4	
			上記①~③までのいずれか2つに該当あり	8	
必須	地域貢献活動への参加実績	過去2か年度の地域貢献活動への参加実績	上記①~③までのいずれか1つに該当あり	4	
			上記以外	0	
			5回以上の参加実績あり	5	
必須	（工費が一般土木の場合） 災害の復旧工事の契約実績	過去1か年度の災害の復旧工事の契約実績	5回未満の参加実績あり	3	
			参加実績なし	0	
			10件以上の契約実績あり	15	
			5件以上の契約実績あり	10	
必須	災害の復旧工事の契約実績	過去1か年度の災害の復旧工事の契約実績	5件以上の契約実績あり	10	
			2件以上の契約実績あり	5	
			上記以外	0	

※1 「災害の復旧工事の契約実績」の評価対象期間は、宇和島市の被災規模に応じて設定する。

※ 本表は、土木一式工事（激甚災害相当時）に係る標準的な様式であり、評価内容及び評価基準については、案件に応じて変更する場合がある。

(別表 2-1)

【土木一式工事以外（設計金額 2 億円未満）の場合】

※入札者は、入札金額（税抜、単位：円）を記載してください。
（ただし、入札書の金額と違う場合は、発注者側で入札書の金額に訂正させていただきます。）

入札金額 (税抜、単位：円)

一税抜、円単位で記載

工事名
備考又は名称

評価項目等（実績確認型）

※入札者は評価基準に該当する得点を入札書記載欄に記載してください。

(1) 企業の施工能力について

Table with 5 columns: 評価項目, 評価内容, 評価基準, 配点, 得点 (入札書記載欄). Rows include 同種・類似工事の施工実績 and 工事成績評定値.

※1「同種・類似工事の施工実績」では、次に掲げる工事に該当するものを評価する。

Table with 2 columns: 同種工事, 類似工事

※2「同種・類似工事の施工実績」について、共同企業体の代表者でない構成員としての施工実績は、入札参加資格とは別に、総合評価においては施工実績に含まない。

(2) 配置予定技術者について

Table with 5 columns: 評価項目, 評価内容, 評価基準, 配点, 得点 (入札書記載欄). Rows include 同種・類似工事の従事経験, 主任（監理）技術者の保有する資格, and 継続学習（CPD）の取組み.

※1「同種・類似工事の従事経験」では、上記（1）の※1に掲げる工事に該当するものを評価する。

※2「同種・類似工事の従事経験」について、担当技術者及び共同企業体の代表者でない構成員としての従事経験は、入札参加資格とは別に、総合評価においては従事経験に含まない。

(3) 技術力の継続的な確保について

Table with 5 columns: 評価項目, 評価内容, 評価基準, 配点, 得点 (入札書記載欄). Rows include 設備等施工体制, 市内下請業者の活用, and 若手技術者等の育成.

※1「市内下請業者の活用」では、次に掲げる工種に関する下請業者は対象外とする。

Table with 2 columns: 対象外工種

(4) 地理的要件

Table with 5 columns: 評価項目, 評価内容, 評価基準, 配点, 得点 (入札書記載欄). Row: 本・支店、営業所の有無.

(5) 地域貢献度

Table with 5 columns: 評価項目, 評価内容, 評価基準, 配点, 得点 (入札書記載欄). Rows include 災害対応等への協力体制及び実績 and 地域貢献活動への参加実績.

※（発注者記載） 各評価項目の配点合計（A）
（上記各評価項目満点の合計）

※以下、評価値等が自動計算されますが、入札者においても確認願います。

各評価項目の得点合計（B）
（上記各評価項目の得点合計）

入札価格（税抜、単位：億円）（C）
（例 入札価格（税抜）が925万5千円の場合 0.09255）

加算点（小数第5位以下を切り捨て小数第4位止め）（D）
（以下の計算式により算出）

(加算点) = (入札参加者の企業の施工能力の得点合計 / 企業の施工能力の配点合計) × 2.5 + (入札参加者の配置予定技術者の得点合計 / 配置予定技術者の配点合計) × 2.5 + (入札参加者の技術力の継続的な確保の得点合計 / 技術力の継続的な確保の配点合計) × 1.5 + (入札参加者の地理的要件の得点合計 / 地理的要件の配点合計) × 1.5 + (入札参加者の地域貢献度の得点合計 / 地域貢献度の配点合計) × 2

評価値（小数第5位以下を切り捨て小数第4位止め）
（以下の計算式により算出）

(評価値) = [基礎点(80点) + 施工体制確認点(20点) + 加算点(D)] / 入札価格(C)
ただし、施工体制確認点については、低入札となった場合は、別途評価する。

※本表は、土木一式工事以外（設計金額 2 億円未満）の工事に係る標準的な様式であり、評価内容及び評価基準については、案件に応じて変更する場合があります。

Summary table with 2 columns: 項目, 値. Rows include 配点合計 (発注者記載欄), 得点合計 (自動計算), 入札価格 (自動計算), 加算点 (自動計算), 評価値 (自動計算).

(別表2-4)

【土木一式工事以外（設計金額2億円以上）の場合】

※入札者は、入札金額（税抜、単位：円）を記載してください。

（ただし、入札書の金額と違う場合は、入札書欄で入札書の金額に訂正させていただきます。）

入札金額（税抜、単位：円） 税抜、円単位で記載

Table with 2 columns: 工事名, 番号又は名称

※入札者は評価基準に該当する得点を入札書記載欄に記載してください。

(1) 企業の施工能力について

Table with 5 columns: 評価項目, 評価内容, 評価基準, 配点, 得点 (入札書記載欄)

※1「同種・類似工事の施工実績」では、次に掲げる工事に該当するものを評価する。

Table with 2 columns: 同種工事, 類似工事

※2「同種・類似工事の施工実績」について、共同企業体の代表者でない構成員としての施工実績は、入札参加資格とは別に、総合評価においては施工実績に含まない。

(2) 配置予定技術者について

Table with 5 columns: 評価項目, 評価内容, 評価基準, 配点, 得点 (入札書記載欄)

※1「同種・類似工事の従事経験」では、上記(1)の※1に掲げる工事に該当するものを評価する。

※2「同種・類似工事の従事経験」について、担当技術者及び共同企業体の代表者でない構成員としての従事経験は、入札参加資格とは別に、総合評価においては従事経験に含まない。

(3) 技術力の継続的な確保について

Table with 5 columns: 評価項目, 評価内容, 評価基準, 配点, 得点 (入札書記載欄)

※1「市内下請業者の活用」では、次に掲げる工種に関する下請業者は対象外とする。

Table with 2 columns: 対象外工種

(4) 地理的要件

Table with 5 columns: 評価項目, 評価内容, 評価基準, 配点, 得点 (入札書記載欄)

(5) 地域貢献度

Table with 5 columns: 評価項目, 評価内容, 評価基準, 配点, 得点 (入札書記載欄)

※(免注者記載) 各評価項目の配点合計(A) (上記各評価項目満点の合計)

※以下、評価値等が自動計算されますが、入札者においても確認願います。

各評価項目の得点合計(B) (上記各評価項目の得点合計)

入札価格(税抜、単位：億円)(C) (例 入札価格(税抜)が0.925万5千円の場合 0.09255)

加算点(小数第5位以下を切り捨て小数第4位止め)(D) (以下の計算式により算出)

(加算点) = (入札参加者の企業の施工能力の得点合計/企業の施工能力の配点合計) × 3点 + (入札参加者の配置予定技術者の得点合計/配置予定技術者の配点合計) × 2.5点 + (入札参加者の技術力の継続的な確保の得点合計/技術力の継続的な確保の配点合計) × 1.5点 + (入札参加者の地理的要件の得点合計/地理的要件の配点合計) × 1点 + (入札参加者の地域貢献度の得点合計/地域貢献度の配点合計) × 2点

評価値(小数第5位以下を切り捨て小数第4位止め) (以下の計算式により算出)

(評価値) = [基礎点(80点) + 施工体制確認点(20点) + 加算点(D)] / 入札価格(C) ただし、施工体制確認点については、低入札となった場合は、別途評価する。

※本表は、土木一式工事以外(設計金額2億円以上)の工事に係る標準的な様式であり、評価内容及び評価基準については、案件に応じて変更する場合があります。

Table with 4 rows: 配点合計(免注者記載欄), 得点合計(自動計算), 入札価格(自動計算), 加算点(自動計算), 評価値(自動計算)

(別表2-5)

【土木一式工事（激甚災害相当時）（設計金額2億円以上）の場合】

※入札者は、入札金額（税抜、単位：円）を記載してください。

（ただし、入札書の金額と違う場合は、発注書側で入札書の金額に訂正させていただきます。）

税抜、円単位で記載

Table with 2 columns: 工事項目, 番号又は名称

評価項目等（実績確認型）

※入札者は評価基準に該当する得点を入札書記載欄に記載してください。

(1) 企業の施工能力について

Table with 5 columns: 評価項目, 評価内容, 評価基準, 配点, 得点 (入札書記載欄)

※1 「同様・類似工事の施工実績」では、次に掲げる工事に該当するものを評価する。

Table with 2 columns: 同種工事, 類似工事

※2 「同様・類似工事の施工実績」について、共同企業体の代表者でない構成員としての施工実績は、入札参加資格とは別に、総合評価においては施工実績に含まない。

(2) 配置予定技術者について

Table with 5 columns: 評価項目, 評価内容, 評価基準, 配点, 得点 (入札書記載欄)

※1 「同様・類似工事の従事経験」では、上記(1)の※1に掲げる工事に該当するものを評価する。

※2 「同様・類似工事の従事経験」について、担当技術者及び共同企業体の代表者でない構成員としての従事経験は、入札参加資格とは別に、総合評価においては従事経験に含まない。

(3) 技術力の継続的な確保について

Table with 5 columns: 評価項目, 評価内容, 評価基準, 配点, 得点 (入札書記載欄)

※1 「市内下請業者の活用」では、次に掲げる工種に関する下請業者は対象外とする。

Table with 2 columns: 対象外工種

(4) 地理的要件

Table with 5 columns: 評価項目, 評価内容, 評価基準, 配点, 得点 (入札書記載欄)

(5) 地域貢献度

Table with 5 columns: 評価項目, 評価内容, 評価基準, 配点, 得点 (入札書記載欄)

※1 「災害の復旧工事の契約実績」の評価対象期間は、宇和島市の被災履歴に準じて設定する。

※（発注者記載） 各評価項目の配点合計（A） (上記各評価項目満点の合計)

※以下、評価値等が自動計算されますが、入札者においても確認願います。

各評価項目の得点合計（B） (上記各評価項目の得点合計)

入札価格（税抜、単位：円）(C) (例 入札価格（税抜）が925万5千円の場合 0.09255)

加算点（小数第5位以下を切り捨て小数第4位止め）(D) (以下の計算式により算出)

(加算点) = (入札参加者の企業の施工能力の得点合計/企業の施工能力の配点合計) × 3点 + (入札参加者の配置予定技術者の得点合計/配置予定技術者の配点合計) × 2.5点 + (入札参加者の技術力の継続的な確保の得点合計/技術力の継続的な確保の配点合計) × 1.5点 + (入札参加者の地理的要件の得点合計/地理的要件の配点合計) × 1点 + (入札参加者の地域貢献度の得点合計/地域貢献度の配点合計) × 2点

評価値（小数第5位以下を切り捨て小数第4位止め）(以下の計算式により算出)

(評価値) = (基礎点(80点) + 施工体制確保点(20点) + 加算点(D)) / 入札価格(C) ただし、施工体制確保点については、低入札となった場合は、別途評価する。

※本表は、土木一式工事（激甚災害相当時）（設計金額2億円以上）に係る標準的な様式であり、評価内容及び評価基準については、案件に応じて変更する場合があります。

Table with 4 rows: 配点合計 (発注者記載欄), 得点合計 (自動計算), 入札価格 (自動計算), 加算点 (自動計算), 評価値 (自動計算)

(別表3-2)

【土木一式工事（激甚災害相当時）の場合】

※入札者は、入札金額（税抜、単位：円）を記載してください。

(ただし、入札書の金額と違う場合は、発注者側で入札書の金額に訂正させていただきます。)

大札金額 (税抜、単位：)

←税抜、円単位で記載

Table with 2 columns: 工事名, 商号又は名称

評価項目等 (簡易実績型)

※入札者は評価基準に該当する得点を入札者記載欄に記載してください。

(1) 企業の施工能力について

Table with 5 columns: 評価項目, 評価内容, 評価基準, 配点, 得点 (入札者記載欄)

(2) 配置予定技術者について

Table with 5 columns: 評価項目, 評価内容, 評価基準, 配点, 得点 (入札者記載欄)

(3) 技術力の継続的な確保について

Table with 5 columns: 評価項目, 評価内容, 評価基準, 配点, 得点 (入札者記載欄)

(4) 地理的要件

Table with 5 columns: 評価項目, 評価内容, 評価基準, 配点, 得点 (入札者記載欄)

(5) 地域貢献度

Table with 5 columns: 評価項目, 評価内容, 評価基準, 配点, 得点 (入札者記載欄)

※(発注者記載) 各評価項目の配点合計(A) (上記各評価項目満点の合計)

※以下、評価値等が自動計算されますが、入札者においても確認願います。

各評価項目の得点合計(B) (上記各評価項目の得点合計)

入札価格(税抜、単位：億円)(C) (例 入札価格(税抜)が925万5千円の場合 0.09255)

加算点(小数第5位以下を切り捨て小数第4位止め)(D) (以下の計算式により算出)

(加算点) = (入札者自ら評価した各評価項目の得点合計(B) / 各評価項目の配点合計(A)) x 10点

評価値(小数第5位以下を切り捨て小数第4位止め) (以下の計算式により算出)

(評価値) = 基礎点(80点) + 施工体制確認点(20点) + 加算点(D) / 入札価格(C)

ただし、施工体制確認点については、低入札となった場合は、別途評価する。

※本表は、土木一式工事(激甚災害相当時)に係る標準的な様式であり、評価内容及び評価基準については、案件に応じて変更する場合があります。

Table with 5 rows: 配点合計(発注者記載欄), 得点合計(自動計算), 大札価格(自動計算), 加算点(自動計算), 評価値(自動計算)